

医歯学軟式テニス部

軟式テニス部 歯学科3年 大西雅人

こんにちは。医歯学軟式テニス部です。今年度は2名の1年生部員を迎え、現在部員11名で活動しています。歯学部生は少人数ではありますが、医学部の学生と共に活動しており総勢約70名の部員がいます。今年度で所属して3年目になります。この部活の良さを紹介していこうと思います。

私は過去、中学では野球部、高校では陸上部と、軟式テニスはおろからケットスポーツに本格的に取り組んだことはありませんでした。そんな私が軟式テニス部に入る1番の決め手となったのは先輩方の人柄の良さに尽きます。

大学に入学してどの部活動に所属するか決め兼ねていた私は、様々な部が行っている部活動体験に参加しました。その中でも一際心が惹かれたのが軟式テニス部です。まず驚いたのは、その部員の多さです。主将の号令で部員全員が集めた際に、50を超える部員が集結していた光景には圧倒されました。そして、その部員全員が私たち新入生に対して優しく歓迎ムードで接してくださいました。

私を含め半分以上の部員は大学から軟式テニスを始めた人たちばかりです。特に指導者がいるわけではなく、練習中に経験者が初心者の部員に教えている様子はとても心温まるものでした。初心者でも「うまくできた！」という気持ちになれると、そのスポーツの楽しさに気付いたり、モチベーションの向上に繋がったりとすぐに上達できるきっかけとなります。

その他、先輩方の話を聞いているとほとんどの部員が医学科や保健学科の方ばかりなのです。他の学部の友達を作ることが夢だった私は、ますますこの部活に魅了されました。私の同期は10名いますが、そのうち9名が医学部の学生たちです。

今ではかなり親睦が深まり、プライベートでも親交があります。

ここまでだと仲良しクラブで終わってしまいそうですが、大会ではいくつもの実績を残しています。過去3つの大会では団体戦ベスト4が2度と準優勝、個人戦ではベスト8やベスト4、3位のペアがいるなどかなりの強豪校です。限られた時間の中でよりよい練習ができるように日々取り組んでいます。

ここには書き切れないほど医歯学軟式テニス部には多くの良さがあります。これまで多くの先輩に恵まれ、後輩もできました。学部の垣根を越えてたくさんの知り合いができ、日々切磋琢磨できるチームメイトがいるおかげで充実した部活動ライフを送ることができています。また、大会などで県外に遠征に出かけた際にも歯学部生だけでなく、多くの学部の友人ができました。この部活のおかげで今の自分があると思っています。多くの人にこの部活の魅力が伝わるよう、来年以降も新1年生の勧誘を頑張っていきたいです。

最後になりましたが、来年度のオールデンタルでは個人戦・団体戦ともに優勝して来ますので、どうぞ皆さんの温かい応援をよろしくお願いします！



秋の北医体

歯学部軽音部

軽音楽部 武井 奏一郎

こんにちは。歯学部軽音部Liarsの部長の武井奏一郎と申します。

私たち軽音楽部は年に4回（今年度は6回を予定しています。）のライブを行っていて、そこに向けて日々練習を個々で不定期に行っています。現在の部員数は、男子10人、女子16人の合計26人が在籍しています。昨年は新型コロナウイルス感染症により部活動が停止状態となってしまったため、新歓活動を自粛せざるを得ない状況となってしまいました。しかし、今年の8月に制限付きの活動再開の許可が下りたため、新歓活動を行うことが出来ました。例年における新歓活動は、新1年生を集め、先輩による軽いギター演奏やビラ配りなどが行われたり、花見と呼ばれる1年生と上回生との懇親会のようなものが行われたり、楽器体験会と称して1年生に楽器を触ってもらったり、軽いライブを行ったりと、盛り沢山でした。今年は、感染対策案をふまえ、マスク着用、換気を徹底した状態での小規模による楽器体験会を数回行う、また歯学部学務係の方々に新1年生に向けた限定公開で各部活動の紹介ムービーを作る企画を行っていただいたので、紹介動画を作り、投稿させて頂く事で、1年生の皆さんに軽音部に興味を持ってもらおう！と活動を進めていました。動画には、部員数などの基本的事項から例年行われていた浜コンなどのイベント紹介を画像と音楽を添えた形で作りました。このような活動を行ったことにより、今年は8人の1年生が入部を決めてくれました。コロナウイルスが流行するこの時期に、沢山の1年生が入部してくれて、本当に感謝をしています。例年では、年に4回のライブ活動を行ってきました。ライブハウスでのライブや、スタジオで行われる小規模なライブ、医学部軽音部Medicsさんとの合同ライブなど様々なライブを行ってきました。しかし、新型コロナウイルスによる影響でライブハウスでの活動は自粛せ

ざるを得ない、新2年生（2020年度入学の1年生）の勧誘を行えなかったこと、上級生の卒業などの要因により、大規模なライブ活動を行うことが難しいのが今の軽音部の現状です。しかし、そのような時であるからこそ部員が工夫してライブ活動を行う、ということが軽音楽部であり、新型コロナウイルスに対する反骨精神を抱くことこそが軽音楽部の矜持たるものと私は思っています。そこで、『ライブの規模を小規模にして、回数を増やそう』という結論に至りました。従って、当分は医学部の音楽鑑賞室による小規模なライブ、医学部軽音部さんとの合同ライブを行うことで感染対策に則った人数不足の状況でもライブ活動を行えるように方針を決定しました。以前に比較すると、部活動の規模が小さくなってしまいますが、新型コロナウイルスの感染が縮小するまでは、『耐え難きを耐え、忍びがたきを忍び』の考えで、でも、楽しむところは楽しんで活動していきたいと考えています。そして、遂に7月11日に音楽鑑賞室で1年生の新歓ライブを行うことが決定しました。少ない人数で行うからと言って、手を抜かず、感染対策も万全で、1年生の皆さんが『入ってよかったな』と思えるようなライブを行えるようにしたいと我々は考えています。



2019年定期コンサートでの集合写真